



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

7

2011
JULY

7月10日発行
第1巻 第10号 通巻10号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 旧約聖書 箴言第29章23節

驕る者は低くされ、心の低い人は誉れを受けるようになる。

クラブ会長主題：出会おう! 新たな自分に! ~楽しく! 熱く! 有意義に! クラブ会長: 高倉英理
国際会長主題: "Once More We Stand" 心新たに立ち上がろう 国際会長: 藤井寛敏(東京江東クラブ)
アジアエリア会長主題: "Once More We Stand" 心新たに立ち上がろう アジアエリア会長: 高田一彦(横浜クラブ)
西日本区理事主題: 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』西日本区理事: 仁科保雄(京都キャピタル)
京都部部長主題: 『ワイズビジョンを、思いやりと共に』京都部部長: 阪田民明(京都グローバル)



「楽しみましょう! ZEROクラブを!」

～一人一人を大切に、人と人のつながりを大切に～

第2期会長 高倉 英理

一人一人を大切にすることというのは、どういうことでしょうか?

まずクラブを動かしているのは各委員会であるということです。

各委員会で企画立案したものを三役会を経て、役員会で決定します。

決定されたものを各委員会が中心となり実行されます。

この委員会→三役会→役員会→委員会というサークルはメンバー一人一人を大切にするための大事な流れです。

二つめ、クラブにとって大切なことに、様々な考えのメンバーが

集まり忌憚のない意見を交わし、切磋琢磨することがあります。

このときに大事なことは、人の話をきちんと聞くこと、そのうえで自分の考えを話すということ、

そして忘れてはいけないのは自分を省みることです。

この一年間で親睦もかなり深まってきたと思います、大西さんのこともあり、

それぞれがそれぞれの意見を述べる雰囲気も出来てきました。

今が大切な時期と思います。

意見の食い違いからの衝突もあることでしょう。感情的になることもあるかもしれません。

ケンカしてもすぐに仲直り出来る仲間でありたいと思います。

それぞれがそれぞれを尊重し、また尊敬しあえる仲間でありたいと思います。

今期第二例会は、ある程度自由に、日や場所を変えたり、ハッピーアワーであったり、

事業を振替たりといったことをやって頂きたいと思っています。

各委員会がドライバーと協力しあい、みんなが楽しみましょう! ZEROクラブを!

6月第1例会「第14回西日本区大会」 ウェスティン都ホテル京都

平成23年6月11日(土)～12日(日)

「西日本大会一日目」

仕事の為遅刻してしまいバナーセレモニーには間に合いませんでした。残念です。会場に着いたときは活動報告の発表がされていました。会場の広さと参加されている人数には驚きました。

懇親会まで約4時間待ち、メンバーの皆さんと楽しい懇親会の時間を過ごしました。

また井上さんの紹介で中之島クラブさんや西村さんの紹介でハワイのクラブと名刺交換ができました。良かったです。

ホストのキャピタルクラブさんの準備や当日の接待は本当に大変だったと思います。ご苦労さまでした。

熊本祐滉

「西日本大会二日目」

朝の聖日礼拝の後、式典が瑞穂の間で行なわれました。私は前日の懇親会・フェロシップ・3次会という強行スケジュールにも関わらず、ちゃんと出席!

ただスーツも下着も靴もなぜか前日のままでしたか?? 式典では、今期設立クラブとして岩国みなみクラブと共に壇上へ、宇佐美会長代行の挨拶は会場から盛大な拍手を受けました。西日本区表彰としては、TOF献金優秀クラブ賞と青年会員獲得賞を頂きました。

そして理事引継も粛々で行なわれ閉会となりました。その後、TOBEクラブと熊本ジェーンズクラブとなかのしまクラブとの交流会に阿蘇クラブと共に参加、総勢30数人で3～4時間飲み放題・酔い放題・言いたい放題の交流を楽しみました。感想としては、もっと多勢のZEROメンバーが来ていたらもっと盛り上がったのになー。来年の西日本区大会には全員で行きたいものです。

うーん今も肝臓イタイ。

井上晴雄



ブリテン・CS合同委員会

大衆寿司酒場 丸福

平成23年6月14日(火)



ブリテンとCS委員と合同の酒盛り、いや委員会は魚が新鮮でおいしい大入り大衆寿司酒場丸福さんで行われました。会議もそこそこに熊本委員長のおつれの女性お二人もゲストで参加していただき、華々しい合同委員会となりました。

ハワイアンパーティーから駆けつけてくださった黄色いポロファッションの佐古田ワイズも印象に残る楽しい町家酒場の夜でした。

まだまだ居たかった…。

参加全10名でした。



うまそー。

平成23年6月14日(木)

ゼロワイズメンズクラブにとって初めての引継例会を、「会長続投」という異例の事態のなかで実施せざるを得ないということで、なぜかワタシがドライバー委員会の場に引っ張り出され、何か案を出せとのこと。

調子に乗せられてテキトーなアイデアを口から出まかせにしゃべっていたら、いつのまにか「それ、実行ね」ということに…とほほ

一番困ったのは、引継式の華である会長引継式が、このままでは「絵にならない」ということ。じゃあワタシが旧会長に扮しますわ、と軽く請け負ったものの、あのひと癖もふた癖もある高倉女史になり切るのは至難の業に近い。

女史のイメージをあれこれと思い描いた結果、やはりあのチャーターナイトに突然真っ赤な振袖で登場し、会場の度肝を抜いたあのシーンと、ロボットの如き不自然な歩行、必ずどこかでトチるしゃべり口、泳ぎまぐる目玉、そして点鐘の空振り…当然、BGMは「あの鐘を鳴らすのはあなた」このあたりをドタバタでリピートすれば、まあ、なんとかなるかなと。

次に困ったのが真っ赤な振袖の調達。赤い着物など、お袋か姉の箆笥を引っかき回せば1枚くらいは出てくるだろうと軽く考えたのが大間違いで、我が家には振袖自体がまったく存在しないではないか。結局は呉服商を営む友人に無理を言って、ぎりぎりのタイミングで仕立て上がりの赤い振袖をなんとか取り寄せてもらい、事なきを得た次第。

難問はさらに続き、今度はあのケツタイなヘアスタイルがどうにも再現できない。同じショートなので何とかかなと思っていたら、こっちは前頭部が禿げ上がりつつあるし、敵のはなぜかフッサフサ。ドイツ軍のヘルメットでも被るかも考えたが、結局は新京極のカツラ店でヘアエクステンションなる代物を購入して無理やり解決。

まあ元来、コスプレとかは決して嫌いなほうではないので、結構喜んでやらせてもらったものの、プリテンの画像で見たおぞましい我が姿にすっかり嫌気がさしてしまった次第。

会長へ、まことにほんまにすみません…

佐古田正美

【第2期 委員会構成】

会長：高倉英理
副会長：堂脇武、藤井隆
内部書記：竹園憲二
外部書記：宇佐美賢一
会 計：波多野守一

- YMCAサービス事業委員会
田中光一委員長、西村寛子、太田真豪、加藤俊明
- 地域奉仕・環境事業委員会
熊本祐滉委員長、妹尾和正
- EMC事業委員会
岸田靖司委員長、佐古田正美、菅井英子
- ファンド・BF・EF・JWF委員会
宮越寛委員長、野中修一
- 交流委員会
井上晴雄委員長
- プリテン広報文献事業委員会
中内基委員長、倉橋昭
- ドライバー委員会
河村栄二委員長、土橋充佳、澤井美智子、山田維久仁

よろしくお願ひします。



来期も叩いてやー。



次期も楽しくやりましょー。





痛みを共有するということ

東日本大震災直後、ある避難場所で行われたレクリエーション・プログラム中に、突然、一人の子どもが家族を失ったことを話しました。私は一瞬ハツとして、話題を変えて気持ちをそらせるのがよいのか、そのまま話を聴くのがよいのか悩んでしまいました。いま、子どもたちは生活基盤である家がない、仕事がないという状況で大きな不安を感じている家族の気持ちを、敏感に感じ取っています。そして、「がんばっている姿を見せて、まわりの人を安心させよう」と、多くのことをがまんしています。

本来、子ども時代には、その時々に応じて「かなしい」とか「うれしい」という気持ちを持つこと、そして、悲しい時、つらい時に思いっきり泣き、楽しい時に心から笑うことが自然であり、必要です。その時に、いっしょに悲しんでくれたり、笑ってくれたりする人がいることで、一人ではないと安心したり、未来に希望を持つことができるのだと思います。それは、子どもたちの将来にわたる生き方の礎、人格の形成にも大きな意味をもちます。

私たちには、いま、子どもたちに寄り添い、つながって、喜びや感動、そして時には痛みや悲しみをも共有することが、求められているのではないのでしょうか。心に痛みを持ち、悩み、希望が見出せず小さくされた人びと、すなわち「憂えている人」のそばにそっと寄り添うことを意味する「優しさ」が必要であり、この「優しさ」を確実に届け続けることが私たちの使命ではないかと信じます。私たちYMCAが大切にしている「キャンプ」には、多くの可能性と喜びがあり、大きな価値を生み出すものであります。キャンプで「人は変えられます」。この夏、全国のYMCAでは被災地の子どもたちやそのご家族をキャンプに迎え、私たちは研鑽を重ねつつ、3年、5年、10年とかかわり続けることを通して、共に歩みたいと願います。

京都YMCA 総主事 神崎清一

1 リーダー研修が始まりました。

大学生ボランティアリーダーに1回生48名が登録し、実行委員会のもとトレーニングが始まりました。6月4日～5日リトリートセンターにおいて一泊二日で新人、経験リーダー124名が、経験に応じYMCA理解、リーダー論、グループワーク、発達障がい理解、現代社会の諸問題、食の安全などの研修を行いました。今後、救急法や発達障害、キャンプなど専門別トレーニングを受けながらそれぞれの配属に応じ、子どもたちのリーダーとして活動を始めます。リーダー養成のための奉仕活動基金への募金よろしく願いいたします。

2 リトリートセンター ホタルのゆうべ

リトリートセンターに流れる小川には、ホタルが生息しているのをご存知でしょうか。皆様でバーベキューをしながら、リトリートセンターのホタルを鑑賞して初夏の夕べを楽しみましょう。

日時 7月2日(土) 午後7時～9時30分
(雨天中止 当日午前9時判断)

集合・解散 リトリートセンター(宇治市二尾宇川)

参加費 おとな(中学生以上) 2,000円

小学生1,800円・幼児1,300円 ※バーベキュー代含

ご希望の方はご宿泊もいただけます・要別途料金

お問合せ・お申込は

京都YMCAリトリートセンター事務局

電話 (075)231-4388

3 2011年度定期総会が開催されました。

5月28日会員定期総会が開催されました。予算、決算、事業計画、事業報告のほか、日本YMCAリーダー認証や各ワイズメンズクラブ会長への感謝状贈呈がありました。

4 YMCAサマープログラム参加者募集中!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。

■キャンプ、デイキャンプ

電話 075-231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

■短期集中スイミングスクール、

鉄棒・とび箱が好きになる教室・幼児わくわく運動教室

電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

5 ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第54回

苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 7月16日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円

※お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

または vb@kyotoymca.or.jp

あの人は普段何をしている人なの?? ①

私の仕事紹介



企画デザイン会社勤務

有限会社ブロス 代表取締役

中内基 Hajime Nakauchi

京都の左京区、造形大と京大のちょうど真ん中の北白川別当町でデザインしたり音楽聴いたりごはん食べたりして過ごしています。

オートバイと焼鳥とビートルズが特別好きです。最近実に自分のイメージが人生を創っていると思う。40過ぎてからがいろんな人との出逢いが楽しい。ええもんもっと創っていききたい。

我が会社では企業様のブランド確立を企画し、ブランドイメージ（ロゴマークや配色）から具体的なカタチに。さまざまなテイストに対応する広告制作、リーフレット・パンフレット・ポスター・パッケージ・エディトリアル・ウェブサイト、印刷物からお店の顔である看板まであらゆるデザイン制作物をトータルにサポートしています。オリジナルウェア制作工房も2年前より開設しTシャツやユニフォームなどもスタッフで作っています。

京都市左京区北白川堂ノ前町36-1 ナルド北白川301 〒606-8277
T. 075-634-3606 F. 075-634-3626 E. b-ss@nifty.com
090-2049-8183 <http://s-bros.jimdo.com>

後記

委員長就任初めてのブリテン1号目です。手配が慣れなく、遅くなりました。すいません。 中内基

〈強調月間〉Kick-off EMC-C

■ 6月例会出席

第1例会 メンバー 11/26名	第2例会 メンバー 20/26名 ゲスト 1名 メネット 2名 コメント 1名
月間出席者数 24名/月間出席率 92.3%	

■ TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

■ ニコニコ

6月	0円
累計	153,400円

■ ファンド

6月	104,971円
累計	318,543円

会長 高倉英理

副会長 堂脇武、
藤井隆

書記 竹園憲二

書記 宇佐美賢一

会計 波多野守一